



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 吉田 智哉

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,156	13.2	250	△22.8	234	△24.5	94	△30.8
26年3月期第1四半期	3,672	17.9	324	55.3	311	77.9	135	95.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 145百万円 (△15.8%) 26年3月期第1四半期 173百万円 (92.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.63	—
26年3月期第1四半期	5.25	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	18,853	5,562	24.3	177.18
26年3月期	18,105	5,452	25.0	175.04

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,585百万円 26年3月期 4,529百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	120.00	—	1.40	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	1.30	—	1.30	2.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。平成26年3月期末以降の配当は、株式分割後の金額となります。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,725	14.1	825	12.0	776	11.2	334	13.9	12.92
通期	17,734	13.2	1,718	15.4	1,619	12.3	691	22.4	26.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	28,150,000 株	26年3月期	28,150,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,273,100 株	26年3月期	2,273,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	25,876,900 株	26年3月期1Q	25,876,900 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による消費低迷の懸念は残るものの、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策等の効果により円安・株高が継続し、また雇用環境の改善が見られるなど景気は回復基調を維持しております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,156百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益250百万円(前年同期比22.8%減)、経常利益234百万円(前年同期比24.5%減)、当期純利益94百万円(前年同期比30.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、中古車のオークション価格の上昇により収益力が低下しておりますが、海外の旺盛な需要により当第1四半期連結累計期間における輸出台数は34万台(前年同期比10.7%増)と好調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、メインとしているB2C販売に加えて、各地域でB2B販売の強化を推進しており、高額車輻を取扱う現地販売業者との取引強化により高額車輻の販売台数が増加し、販売単価の増加に繋がりました。また、現地販売エージェントとの提携や、既存のカスタマーサポートセンターでの対面販売の強化など、現地における販売網の拡大にも注力いたしました。さらに、アフリカ地域においては、カスタマーサポートセンターにおけるアフターサービスの強化や、沿岸主要港から内陸主要都市への中古車陸送ルートの確立等により、顧客満足度の向上に繋がりました。

上記施策等により当社グループの輸出台数は2,278台(前年同期比1.8%増)となり、また高額車輻の販売台数の増加等により売上高が前年同期を大きく上回ったものの、仕入面ではオークション価格の上昇等により利益率が低下いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,747百万円(前年同期比22.8%増)、営業利益50百万円(前年同期比59.2%減)となりました。

#### ② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・FCの空白地域への新規出店を推進し、新規出店店舗の早期黒字化を実現すべく、TVCMの継続的な放映及び顧客満足度向上策の実施により個人顧客への販売強化を図りました。当期においてFC店の一ノ関駅前店(岩手県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は113店、総保有台数は12,385台(前年同期比11.6%増)となりました。さらに、レンタル終了車輻の販売台数は337台(前年同期比6.6%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,605百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益190百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

#### ③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国の自動車業界においては、ランド安による小売価格の上昇、労働ストライキ等の要因により、平成26年1-6月期の新車販売台数は30万台(前年同期比5.3%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で、スズキディーラー3店舗、プジョーディーラー1店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。前期において実施したフィアット・アルファロメオディーラー及びスズキディーラーの店舗統合により経営効率が向上し、さらに、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、中古車・サービス部門で経営改善を行っており、当該部門において収益力が向上しております。

車販売台数は、主要ブランドであるスズキにおいて新モデルの投入が相次いだこと等により合計222台(前年同期比16.8%増、内訳：プジョー21台(5.0%増)、フィアット・アルファロメオ9台(47.0%減)、スズキ192台(25.5%増))、中古車販売台数は合計336台(前年同期比7.7%増)と好調に推移しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高881百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益13百万円(前年同期比22.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、10,516百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が728百万円、商品及び製品が163百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、8,336百万円となりました。これはリース資産(純額)が160百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、18,853百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.5%増加し、10,733百万円となりました。これはリース債務が711百万円、短期借入金が320百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、2,557百万円となりました。これはリース債務が96百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、5,562百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、709百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、営業活動の結果獲得した資金は519百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益233百万円、減価償却費546百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は103百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出94百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は379百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出603百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売を拡充し、継続的にB2B販売先を新規開拓するとともに、新規市場への進出を模索してまいります。また、現地でのアフターサービスの充実を図り、売上の拡大及び顧客満足度の向上に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、継続的に直営・FCの空白地域への新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成26年5月7日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	675,099	709,779
受取手形及び売掛金	958,204	832,337
リース債権及びリース投資資産	5,719,626	6,448,224
商品及び製品	1,571,728	1,735,569
仕掛品	1,884	3,210
原材料及び貯蔵品	14,309	15,708
その他	725,169	776,219
貸倒引当金	△5,011	△4,059
流動資産合計	9,661,012	10,516,990
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	4,104,059	3,943,544
土地	2,889,237	2,927,323
その他(純額)	783,438	806,324
有形固定資産合計	7,776,735	7,677,192
無形固定資産		
のれん	115,086	112,896
その他	94,724	91,072
無形固定資産合計	209,811	203,968
投資その他の資産		
その他	472,839	470,360
貸倒引当金	△15,106	△15,063
投資その他の資産合計	457,732	455,297
固定資産合計	8,444,279	8,336,458
資産合計	18,105,291	18,853,448
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	553,267	576,417
短期借入金	580,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	199,200	153,902
1年内償還予定の社債	34,000	34,000
リース債務	7,589,083	8,300,333
未払法人税等	342,127	65,856
賞与引当金	82,288	39,747
その他	602,160	663,132
流動負債合計	9,982,127	10,733,389
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	295,010	280,012
リース債務	2,285,724	2,189,417
役員退職慰労引当金	22,903	23,732
資産除去債務	15,331	15,394
その他	35,759	33,368
固定負債合計	2,670,729	2,557,925
負債合計	12,652,857	13,291,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	2,617,483	2,675,319
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	4,523,074	4,580,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,044	18,634
為替換算調整勘定	△11,533	△14,484
その他の包括利益累計額合計	6,511	4,150
少数株主持分	922,848	977,073
純資産合計	5,452,434	5,562,133
負債純資産合計	18,105,291	18,853,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,672,634	4,156,981
売上原価	2,624,080	3,130,202
売上総利益	1,048,553	1,026,779
販売費及び一般管理費	724,346	776,525
営業利益	324,206	250,254
営業外収益		
受取利息	2,714	3,083
受取配当金	3,662	5,163
投資有価証券償還益	6,236	4,151
その他	4,603	2,964
営業外収益合計	17,216	15,362
営業外費用		
支払利息	22,917	22,905
為替差損	3,670	5,330
その他	3,670	2,473
営業外費用合計	30,258	30,708
経常利益	311,164	234,908
特別利益		
投資有価証券売却益	—	269
特別利益合計	—	269
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	7,061	1,191
固定資産廃棄損	2,403	—
特別損失合計	9,464	1,199
税金等調整前四半期純利益	301,699	233,978
法人税、住民税及び事業税	113,816	65,033
法人税等調整額	2,906	20,705
法人税等合計	116,722	85,739
少数株主損益調整前四半期純利益	184,977	148,239
少数株主利益	49,093	54,175
四半期純利益	135,884	94,063



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	184,977	148,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,178	639
為替換算調整勘定	△4,569	△2,951
その他の包括利益合計	△11,748	△2,312
四半期包括利益	173,229	145,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,071	91,702
少数株主に係る四半期包括利益	49,157	54,224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	301,699	233,978
減価償却費	528,813	546,564
のれん償却額	1,740	1,716
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△470	△995
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,793	△42,541
受取利息及び受取配当金	△6,376	△8,246
支払利息	22,917	22,905
為替差損益 (△は益)	△1,730	1,071
固定資産売却損益 (△は益)	—	7
固定資産除却損	7,061	1,191
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△269
売上債権の増減額 (△は増加)	64,526	120,061
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△119,569	△81,747
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,507	30,063
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△30,620	△78,946
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,179	△9,354
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	100,347	130,837
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	885	894
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	—	4,927
その他	477	891
小計	894,238	873,009
利息及び配当金の受取額	5,855	8,256
利息の支払額	△21,825	△22,822
法人税等の支払額	△305,824	△339,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,443	519,385
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△47,243	△94,332
無形固定資産の取得による支出	△17,027	△184
投資有価証券の売却による収入	—	561
貸付けによる支出	△3,478	△291
貸付金の回収による収入	6,990	7,551
敷金及び保証金の差入による支出	△4,552	△2,642
敷金及び保証金の回収による収入	1,054	2,915
その他	9,903	△17,326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,353	△103,748
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△93,303	△60,296
配当金の支払額	△33,826	△35,564
リース債務の返済による支出	△543,600	△603,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420,729	△379,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	764	△1,344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,123	34,679
現金及び現金同等物の期首残高	536,425	675,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	634,549	709,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,422,933	1,412,006	837,693	3,672,634	—	3,672,634
セグメント間の 内部売上高又は振替高	300	84,972	—	85,272	△85,272	—
計	1,423,233	1,496,979	837,693	3,757,906	△85,272	3,672,634
セグメント利益	124,335	201,076	11,242	336,653	△12,446	324,206

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,446千円には、のれん償却額△1,740千円、棚卸資産の調整額△10,706千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,746,085	1,528,900	881,996	4,156,981	—	4,156,981
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,527	76,367	—	77,894	△77,894	—
計	1,747,612	1,605,267	881,996	4,234,876	△77,894	4,156,981
セグメント利益	50,686	190,895	13,821	255,403	△5,149	250,254

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,149千円には、のれん償却額△1,716千円、棚卸資産の調整額△3,433千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。